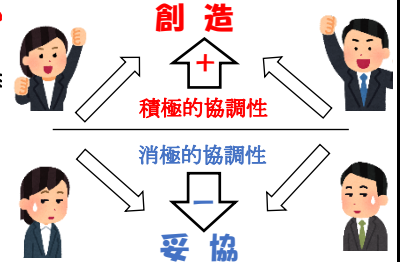


■ 「タカテツのひとり語り」

— コミュニケーション異論、「創造と妥協」 —

本物のコミュニケーションとは“妥協ではなく、ギリギリの接点を見出す”こと。これは「医龍」や「不毛地帯」他の演出家・プロデューサーの長部聡介氏の言です。彼は、企業セミナー等の講師先生が良く言う“相手の主張を聴き、相手を尊重することが重要だ”、と言うのに違和感を覚えると書いています。



更に、本当の意味で他者とコミュニケーションをとるためには相手の話を聴く前にまず、“自分がどうしたいのか”という強力な意見を持つことが必要だと続けています。つまり、自らが具体的なイメージを持ち、出演者・スタッフの異なった意見とその違いを埋めてこそ、豊かな成果への道筋が開ける…相手の言うことの尊重だけでは決してコミュニケーションは成立しないと。まさに創造の世界の人の言葉です。

私も以前に書きましたが“話せば分かる”のではなく“違いが分かる”に過ぎず、それがスタートラインだと。ただ世の中、バートランド・ラッセル卿の言うが如く、人は各々の理解力には差があり話しても分からないことの方が多いのも事実。この場合は“君子危うきに近寄らず”ですね(笑)。

長部氏の場合、全員で何かを創り上げるという目的が一致しています。つまり、まず目的が一致していること…成すべきことを共有していることが先決です。次にそれを達成するために各自の考え、意見を言い合うこと、言わばバトルセッション(闘論)が積極的協調性です。会議でも前の人と同じ、右に同じと言う人はメンバーではなく“お客様”ですよ(笑)。そうなのです。だから私は、必ず“人と違うことを言え”とっています。

それでは協調性が壊れると言う人も居ます。違います。妥協は何も生まない消極的協調性、事なかれであり、積極的協調性こそ“創造”です。協調性には、プラスとマイナスの二つがあります。

長部氏は“曖昧な妥協は決してコミュニケーションと呼ばれるものではない”と結んでおります。自分の意見、「主体性」(NOと言えること)あってこそそのコミュニケーションであり、建設的意見と言うものですよ。ですが、建設的意見はたいがい少数派であることをお忘れなく(笑)。

■ ROKENワークス・アカデミーだより 「ROKEN的研修の考え方」その3 — テクニカルと意味の理解 —



前回は、ヒューマンスキル・人間基礎力の話をしました。人は生れた後のしつけによって想像力・自己制御力(理性)・主体性・忍耐力等の素質(Makings)を身につけ、これが成長できる人の土台となります。しかし、仕事社会は素質だけでは成果を出せません。以下の公式をご覧ください。

$$\text{成果} = \text{素質} \times (\text{知識} + \text{技術}) \times \text{行動}$$

仕事力      興味・関心      教育      訓練

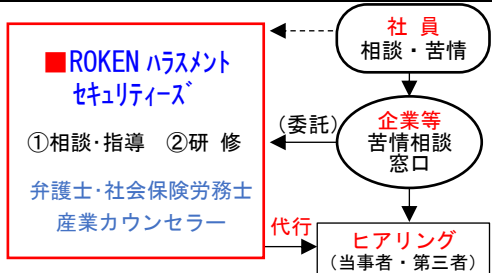
ヒューマンスキルは勿論のこと、成果を出すためには仕事の知識と技術というものも身に付けなければなりません。これまでの「教育訓練」と言うものはOJTでの訓練が主体でした。当然必要なことは言うまでもありません。しかし考えてみて下さい。ただ、こうやれと教えられた人は、何のため、何故こうなのかと言うことが分かりません。ただやれと言われると自己流の覚え方や考え方になり、人によってやり方が違うということになり易い。勿論、言語で説明は難しいため“見て覚えろ、盗め”となりがちです。つまり、知識・技術には理論も方法・手順、理由もあります、これを教える人、機会が乏しかったのです。

ROKENの研修では5SとかPDCAとかも教え、やらせます。ただ整理・整頓の定義は何、PDCAの定義・やり方は何と訊くと答えられず、できた試しもありません…部課長でも。さて経営者は?(汗)。

「整理」は「捨てること」であり、「整頓」は捨てた後に「使い勝手良く並べること」、方法として「3定」等をやらせます。また、何故必要なのか、効果は、と問うとこれがまた“目が天”(笑)。だからこれを「売上」と「利益」の数値で計算させると更に“目が天”、それでようやく合点(ガッテン)してもらえます。これがROKEN流であり、「そんぴん」その3です(笑)。

■ ROKEN提供システムズ — 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

- ROKEN アウトソース・センター
  - ・ 電子申請システム(義務化近し)
  - ・ 給与計算(明細書電子配信)
  - ・ 出退勤指紋(カード)認証システム
- ROKEN ヒューマン・フォース
  - ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価
- ROKENワークス・アカデミー
  - ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ 協同組合 労研センター  
TEL: 23-7233 FAX: 23-7236  
E-Mail: [center@roken.jp](mailto:center@roken.jp)

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研  
TEL: 24-8060 FAX: 24-8069  
E-Mail: [academy@roken.jp](mailto:academy@roken.jp)

roken 検索